

平成23年度 財政状況

この「財政特集」は、市民の皆さんに「尾道市の家計簿」に相当する財政状況を公表することで尾道市の現状を知っていただき、これからの市政の推進にご理解とご協力をお願いするものです。

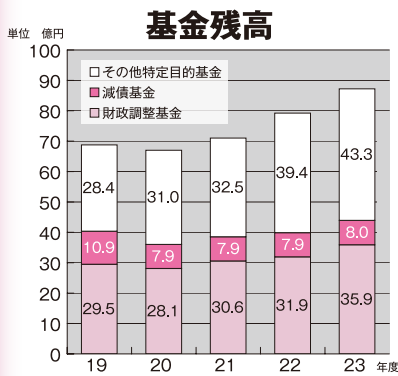
前半では平成23年度一般会計決算(見込み)を、後半では平成23年度特別会計・企業会計の決算(見込み)をお知らせします。

圖財務課(☎0848-25-7322)

私たちのまち“尾道”を財政指数で見てください

平成23年度主な事業

預金はどれくらいある？

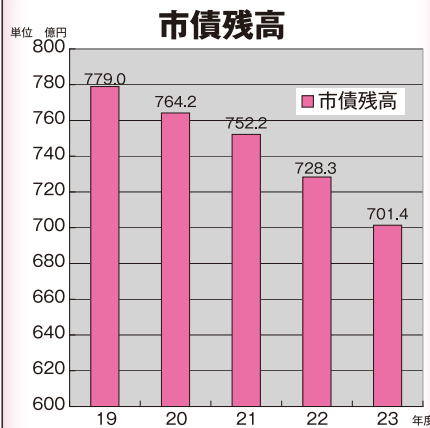


平成23年度末現在

財政調整基金 35億9,497万円
減債基金 7億9,562万円
その他特定目的基金 43億3,384万円

市では災害や市税収入の減少などに備えて預金をしています。

借金はどれくらいある？



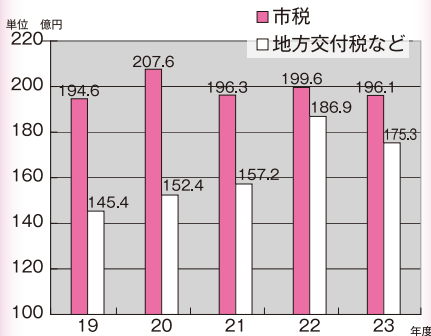
平成23年度末現在

市債残高 701億3,784万円

一度に多くのお金がかかる公共施設の建設などには借入れをします。

普通会計 ベース

市税と地方交付税

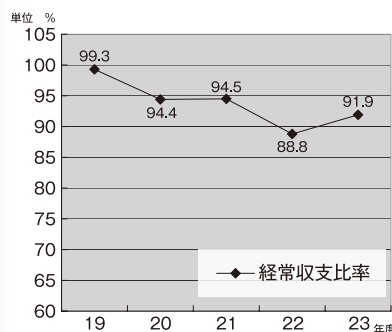


平成23年度

市税 196億 900万円
地方交付税など 175億2,913万円

市税収入、地方交付税など(実質的な地方交付税として臨時財政対策債を加えたもの)は、ともに減少しました。

経常収支比率



平成23年度

91.9%

家計でいえば、毎月確実に支出される経費(光熱水費やローンの返済など)が毎月得られる収入(給料など)に占める割合のことです。

多様な交流の輪が広がるまち



潮音山公園

歩行者ネットワーク整備事業
998万円

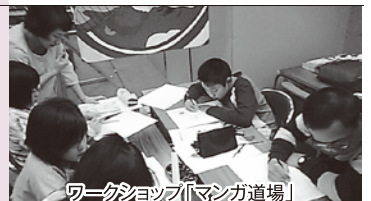
活力あふれる産業が育つまち



洋止セミナー

海事都市推進事業 499万円

尾道の持つ感性の豊かさ誇りになるまち



ワークショップ「マンガ道場」

マンガで賑わう尾道まちづくり事業
300万円

心豊かに育ち、学び高めあうまち



日比崎中学校校舎増築事業
1億6,271万円

子育てや長寿を楽しみ、誰もが幸せに暮らせるまち



瀬戸田診療所建設事業負担金
2億2,655万円

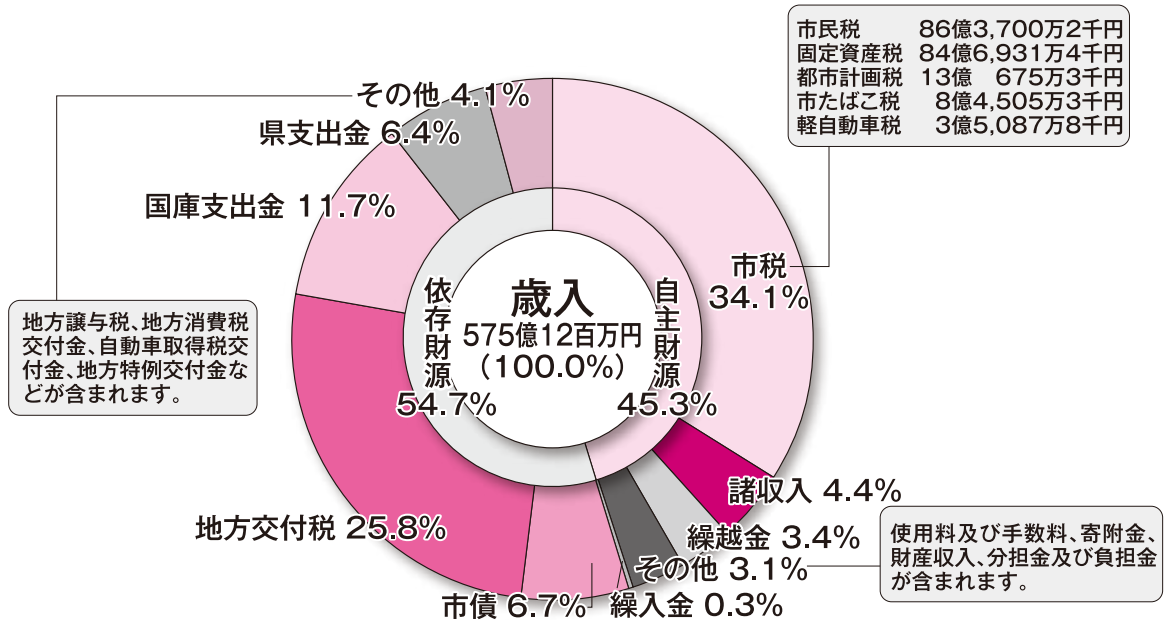


いきいきサロン簡湯

いきいきサロン(立花・門田・簡湯)
建設事業 1億3,169万円

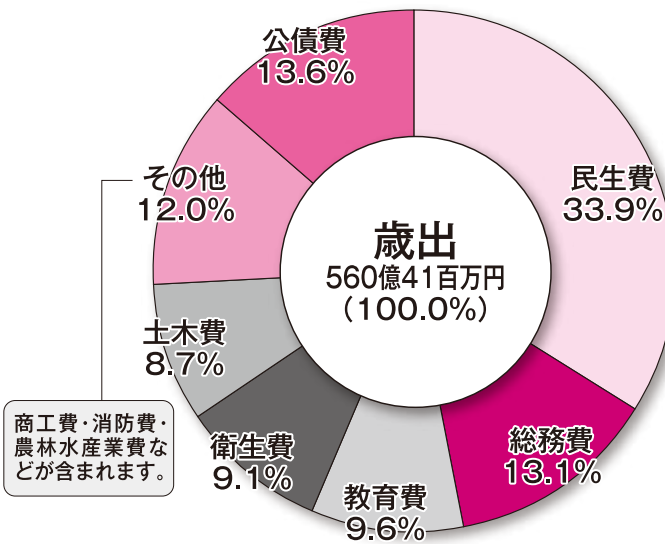
平成23年度一般会計決算収支の内訳(見込み)

財源

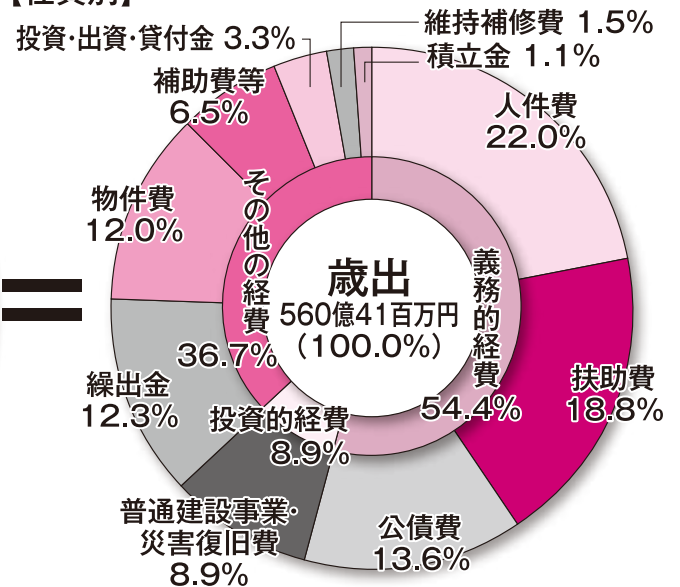


使い道

【目的別】



【性質別】



市民1人当たり・1世帯当たりの歳入と歳出

年度	歳入(市税)			年度末世帯数・人口	歳出		
	市税収入額	1人当たり負担額	1世帯当たり負担額		歳出決算額	1人当たり決算額	1世帯当たり決算額
21	19,626,689千円	132,257円	309,995円	63,313世帯 148,398人	60,065,162千円	404,757円	948,702円
22	19,962,039千円	135,659円	315,052円	63,361世帯 147,149人	55,787,672千円	379,124円	880,473円
23	19,609,000千円	134,366円	308,881円	63,484世帯 145,937人	56,041,037千円	384,008円	882,758円

一般会計決算を1カ月の家計に置き換えてみると…

尾道市(単位:百万円)				家計簿(単位:円)			
歳入	23年度	22年度	増減	収入	23年度	22年度	増減
	市税	19,609			19,962	-353	
諸収入・分担金及び負担金・使用料及び手数料など	4,336	4,673	-337	パート収入	43,400	46,700	-3,300
地方交付税・その他交付金・国庫支出金など	27,564	27,713	-149	親からの援助	275,600	277,100	-1,500
市債	3,875	4,295	-420	借金(ローン)	38,700	43,000	-4,300
繰入金	177	396	-219	預貯金の引き出し	1,800	4,000	-2,200
繰越金	1,951	700	+1,251	前月からの繰越し	19,500	7,000	+12,500
合計	57,512	57,739	-227	合計	575,100	577,400	-2,300
歳出	23年度	22年度	増減	支出	23年度	22年度	増減
人件費	12,312	12,831			-519	生活費	
扶助費	10,513	9,931	+582	食費	123,100	128,300	-5,200
物件費	6,735	6,541	+194	医療費など	105,100	99,300	+5,800
維持補修費	835	752	+83	光熱水費、家庭用品の購入など	67,400	65,400	+2,000
補助費など	3,659	3,395	+264	家電品・車の修理費など	8,400	7,500	+900
積立金	614	474	+140	小遣い、町内会費、税金など	36,600	34,000	+2,600
投資・出資・貸付金	1,867	2,334	-467	預貯金	6,100	4,700	+1,400
他会計への繰出金	6,894	7,288	-394	友人への援助	18,700	23,300	-4,600
投資的経費	4,998	4,447	+551	子どもたちへの仕送り	68,900	72,900	-4,000
公債費	7,614	7,795	-181	家の増改築費等	50,000	44,500	+5,500
合計	56,041	55,788	+253	借金(ローン)の返済	76,100	78,000	-1,900

※家計簿から…収入は、毎月の給料やパート収入(市の自主財源)に加え、多くを親(国や県)からの援助と借金(依存財源)に頼っていますが、その親も実は借金を抱えており、いつまでもあてにできません。そこで、給料を増やす努力(収納率の向上、企業誘致など)やパート収入を増やす努力(受益者負担の原則で有料化の推進、各種使用料・手数料の見直しなど)をしています。支出は、医療費(高齢化社会)など生活費が増え、それに加え家の増改築費等(普通建設事業など)にも多くかかっています。なお支出を見直していく必要があるでしょう。(行財政改革など)

※平成23年度決算(一般会計)から…前年に比べ扶助費や投資的経費は増え、市税などが減少したことで、経常収支比率(普通会計)が悪化しました。引き続き、市税など自主財源を増やす努力をしながら、義務的経費など経常的に必要な経費の削減に取り組み、新規・臨時の事業経費や投資的経費を確保することで、市民の皆さんのニーズに対応できる健全で安定した財政運営をすすめていきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

平成23年度 特別会計決算(見込み)

会計名	決算(見込み)状況(単位:千円)		
	歳入額	歳出額	差引額
港湾事業	174,545	169,644	4,901
国民健康保険事業	16,875,783	16,610,443	265,340
千光寺山索道事業	91,469	90,760	709
駐車場事業	152,404	152,404	0
夜間救急診療所事業	189,439	189,439	0
公共下水道事業	1,619,936	1,619,936	0
介護保険事業(保険事業勘定)	14,169,537	14,168,827	710
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	14,833	14,833	0
尾道大学事業	1,590,978	1,590,978	0
漁業集落排水事業	13,232	13,232	0
救護施設事業	238,954	238,954	0
特定環境保全公共下水道事業	189,396	189,396	0
農業集落排水事業	31,759	31,759	0
渡船事業	32,746	32,746	0
後期高齢者医療事業	1,903,698	1,870,270	33,428
合計	37,288,709	36,983,621	305,088

かんたん財政用語

一般会計	福祉や教育、道路整備など市民生活に直接関係する事業を行う会計
特別会計	一般会計と財布を分けることで収支をはっきりさせる会計
企業会計	尾道市では、水道事業会計、病院事業会計
財政調整基金	将来の財政の健全な運営に役立つために積み立てられる預金
減債基金	将来の市債の償還にあてるために積み立てられる預金
普通会計	他市との財政比較を行うための統計上の会計
地方交付税	自治体の財政状況に応じて国から交付される財源
国庫支出金・県支出金	特定の事業目的のために国や県から交付される財源
人件費	市の特別職の報酬、職員の給与、手当、共済費などの経費
扶助費	生活困窮者、児童、高齢者、障害者などに対する福祉の経費
公債費	市の長期の借金の返済金や短期(1年以内)の借入金の利子
物件費	消耗品や旅費、公共施設の運営などの経費
義務的経費	人件費や、扶助費、公債費など、必ず支払わなければならない経費
投資的経費	建設事業(道路や施設)や用地の購入などに使う経費
自主財源	市税、使用料、手数料、諸収入など市が自ら調達できる財源
依存財源	地方交付税、国庫支出金、県支出金などのように国や県からの財源

【参考】都市計画事業に要する経費と都市計画税
(都市計画事業には、街路、公園、下水道、区画整理などの事業が含まれます。)

(単位:千円、%)

年度	都市計画費	公債費	計	充当一般財源A	うち都市計画税B	率B/A
平成21年度	1,249,084	759,570	2,008,654	1,569,923	954,672	60.8
平成22年度	978,371	761,214	1,739,585	1,583,801	1,317,415	83.2
平成23年度	1,051,062	740,121	1,791,183	1,574,209	1,306,753	83.0

平成23年度 企業会計決算(見込み)

水道事業

〇水道局庶務課経理係(☎0848-37-8701)

平成23年度の水道事業は、5カ年継続の御調東部上水道拡張事業が完了し、東部地区全体で給水が開始されると共に、隣接する西部地区においても水道未普及地域解消に向けて認可申請等に着手しました。また、老朽化した配水池の更新および耐震管への布設替えを施工し、地震等の災害に強く安定した給水を実現する施設整備に努めました。

収益的収支では、給水収益が景気の低迷により業務用を中心に大幅に減少したことに加え、受託管理収益の減少等により、事業収益は、前年度に比べ3億4,944万3千円減収となりました。一方、事業費用は、御調東部上水道拡張事業の完了による減価償却費の増加があるものの、広島県企業局

からの受託建設工事減による受託管理費の減少等により、前年度に比べ2億3,881万7千円の費用減となり、収支差引、3億4,260万8千円の純利益を計上することができました。

引き続き、損益は黒字を維持しているものの、料金収入の増が期待できない状況にあるため、より一層コスト意識に徹した経営の効率化を図り、安全で良質な水の安定供給に努めます。

貸借対照表 [H24.3.31現在]

(単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	24,042,687	固定負債	290,000
無形固定資産	9,714	流動負債	1,058,689
流動資産	3,589,961	自己資本金	10,729,406
繰延勘定	40,510	借入資本金	5,195,904
		資本剰余金	8,805,340
		利益剰余金	1,603,533
		減債積立金	230,000
		建設改良積立金	1,030,000
		当年度未処分利益剰余金	343,533
		繰越利益剰余金	925
		〔当年度純利益〕	342,608
合計	27,682,872	合計	27,682,872

損益計算書 [H23.4.1~H24.3.31]

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	563,813	水道料金収入	3,580,350
物件費	730,826	受託工事収益	4,330
受水費	1,517,584	受託管理収益	403,406
支払利息	125,204	その他	113,541
その他	809,108	特別利益	95
特別損失	12,579		
当年度純利益	342,608		
合計	4,101,722	合計	4,101,722

病院事業

〇市民病院庶務課経理係(☎0848-47-1155)

市民病院は、高度多様化する医療需要に対応するため、画像造影装置やデジタルX線撮影装置の更新、MRIのアップグレードなど各種医療機器や検査機器の一層の充実を図りました。また、電動ベッドの計画的な導入や通路シェルターの整備を通じて患者のアメニティ向上に努めました。

瀬戸田診療所では新たな診療所の完成と併せて、設備や医療機器を一新し、さらに充実した医療が提供できるような環境整備を行いました。

公立みつぎ総合病院は、地域包括ケアシステムの構築により、救急医療および疾病の治療から地域住民の健康づくり、介護予防、リハビリテーション、在宅ケア、さらに介護・福祉までシームレスなサービス提供をしてきました。主な事業として介護老人保健施設「みつぎの苑」にスプリンクラーを設置し、本年度より3カ年計画の病院増改築工事の基本・実施設計を行いました。また、内視鏡検査システムの更新など医療機器や検査機器の充実も図りました。

市民病院の患者数は、入院94,785人、外来158,473人、合計253,258人となりました。

収益的収支については、事業収益76億3,137万9,117円に対し事業費用74億8,093万8,142円で、差引1億5,044万975円の純利益を計上することができました。

公立みつぎ総合病院の患者数は、入院83,228人、外来148,861人、合計232,089人となりました。

収益的収支については、事業収益62億6,930万7,349円に対し事業費用60億4,322万6,539円で、差引2億2,608万810円の純利益を計上することができました。

市民病院、公立みつぎ総合病院とも、地域住民の医療ニーズ、介護や保健・福祉ニーズにこたえるため、引き続き効率的な運営を図るとともに、健全経営に努め、地域の中核病院としての役割を果たしていきます。

貸借対照表 [H24.3.31現在]

(単位:千円)

借方(資産の部)		貸方(負債資本の部)	
科目	金額	科目	金額
有形固定資産	15,203,877	固定負債	896,724
無形固定資産	1,970	流動負債	1,310,568
投資	7,346	自己資本金	7,995,345
流動資産	5,821,986	借入資本金	5,895,208
繰延勘定	469,570	資本剰余金	2,334,283
		利益剰余金	3,072,621
		減債積立金	142,850
		建設改良積立金	100,000
		利益積立金	90,000
		その他積立金	50,987
		当年度未処分利益剰余金	2,688,784
		繰越利益剰余金	2,312,262
		〔当年度純利益〕	376,522
合計	21,504,749	合計	21,504,749

損益計算書 [H23.4.1~H24.3.31]

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
職員給与費	7,491,907	入院収益	7,153,000
物件費	2,781,125	外来収益	3,492,073
支払利息	120,567	その他医療収益	1,020,291
その他	3,118,488	その他	2,230,194
特別損失	12,078	特別利益	5,129
当年度純利益	376,522		
合計	13,900,687	合計	13,900,687



カメラさんぽ



海まつり



火まつり



島まつり

武者行列や小早レース

8月4日・25日・26日の3日間、3部構成で行われた「因島水軍まつり」。島まつりでは村上水軍出陣式、火まつりでは跳楽舞はねくらべや大松明、海まつりでは小早レースが行われました。また、25日には全国水軍まつりも同日開催されました。



元気いっぱいの踊りを披露

8月15日、御調中央小学校などで「第23回御調町夏まつり」が行われ、各団体が衣装などを工夫した踊り自慢コンテストやパレードなどで盛り上がりました。



姉妹都市今治で交流

8月4日、姉妹都市である今治市の夏のイベント「おんまく」が行われ、本市からも各団体が参加し、正調三下がりなどを披露しました。



2年に1度の吉和太鼓踊り

8月18日、広島県無形民俗文化財である「吉和太鼓踊り」が行われ、浄土寺などで太鼓の音や威勢のよい掛け声に合わせて踊りが披露されました。



子どもたちも真剣勝負

8月18日、向島公民館で「夏休み子ども囲碁大会」が行われ、小・中・高校生33人が参加し、19路盤、13路盤などでクラス別に分かれて対局しました。



夏の夜空を彩る花火

8月18日、瀬戸田サンセットビーチで「第34回瀬戸田町夏まつり」が行われ、打上花火やステージイベントがあり、多くの人で賑わいました。



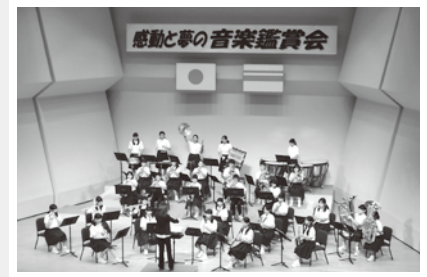
一緒に学ぼう！キッズフェスタ

8月4日・5日、尾道市民センターむかいしまで「おのみちキッズフェスタ」が行われ、食育トークショーやミニカー工作などのイベントがあり、多くの子どもたちで賑わいました。



食を通して国際交流

8月22日、向島公民館で「国際クッキング教室」が行われ、市内で英語を教えている外国人の先生からパンキンパイの作り方を教えてもらうなど料理を通じて交流しました。



練習を重ねたトップレベルの演奏

8月22日、しまなみ交流館で「感動と夢の音楽鑑賞会」が行われ、全国や県内のコンクールで入賞した市内外7校の吹奏楽部・合唱部の児童生徒により、演奏・合唱が披露されました。